



船出 (大分県)

辻 重樹さん

春
夏
秋
冬

「備えあれば憂いなし・・・」

副支部長 中西 康憲

2011年3月11日、我々が忘れてはならない大震災が発生した日！社友会広島支部のHPにも掲載していますが、皆様に義援金のお願いを致しました所、200名を超える方々から多額の義援金をご寄付頂きました。改めて厚くお礼申し上げます。さて、タイトルの「備えあれば憂いなし・・・」は、昨年10月発行のhibiki56号の春夏秋冬欄で、異常気象の事について述べさせて頂きました。この言葉は昔から受け継いできた格言で、人は平穏な毎日が続くと非常時の対処に備える事を忘れる特性があります。平成になって発生した大地震・大津波は、日本では阪神・淡路大震災があり、海外ではインドネシアのスマトラ沖大地震・大津波や中国四川省で発生した大地震等など、我々の普段の意識の中にどれ程残っていたのか疑問です。東日本大震災発生時の事を思い出してください。私も昼食後、テレビを観ていると広島でも揺れを感じたが、テレビ画面に東北地方で大きな地震が発生したとテロップが流れ、その地震の大きさが尋常では無かったので各テレビ局が一斉に地震災害を報じ始めた。画面に映し出された映像は過去のいつもの地震発生時の映像と同じ様だと記憶している。テレビ支局の部署の看板が大きく揺れる映像であり、街角に備えられたライブカメラが揺れる映像と、そのカメラが捉える港湾の状況であったと思う。この時点では、住民はもとより放送局の誰もが、30~40分後に襲ってくる

10数メートルの津波の事は、予想出来なかったと思う。そのままテレビを観ていると、海の様子が変化して来た！大津波の到来である！。その様な状況でも街中を歩いている人がおり、海岸線近くや河川沿いの道路を行き交う車も映し出され、思わずテレビに向かって、早く逃げろと叫んだ記憶が残っています。“油断大敵”“災害に打ち勝つ備えと、冷静かつ速やかに対処する行動力”を心掛けましょう！！。

話が変りますが、今年の梅雨入りは、平年より2週間早い5月26日でした。(昨年より19日早い) 予報では中国地方の梅雨明けは7月19日頃で昨年より2日遅いと予報され、併せて梅雨後半には梅雨前線が活発になり大雨の日が多くなるとの予報がでています。又、今年も猛暑の夏になるとの予測もあります。去年は酷暑で、熱中症で亡くなられた方が全国で1,600人以上と聞いています。今年も、大震災の影響もあり全国で電力消費の削減が叫ばれていますが、一方で猛暑・酷暑の夏が予測されています。熱中症に罹らないようエアコンを上手に使い、節電には、家電や照明器具その他の電源を小まめに切るとか、省エネ製品(LED電灯等)に切替える等、で協力する生活にシフトして、この難局を乗りましょう。

主要記事

1面	春夏秋冬
2~3面	第18回総会報告
3面	義援金のお礼と報告
4面	役員会便り、各地区活動報告
5~11面	HOW DO YOU DO クラブTOPICS
11面	夏季旅行報告
12面	地区会員便り、広島支部行事予定、新入会員紹介、社友会会員数、編集後記

シャープ社友会広島支部第18回定期総会報告/紅葉会第17回定期総会と懇親会

平成23年5月27日（PM1:30より）にシャープ社友会広島支部第18回定期総会/紅葉会第17回定期総会及び社友会・紅葉会合同懇親会を通信システム事業本部多目的ホールにて開催しました。参加者は総勢83名、ご来賓にはシャープ(株)通信システム事業本部より高田総務部長、長谷川副参事、阿部支部執行委員長のご臨席をいただきました。

定期総会は松見事務局長の司会で、提案・報告及び審議はスムーズに進行し、全ての議案は提案通りに承認されました。本年は会場の都合等で午後1時30分からの開催となりました。懇親会は昼食なしの短時間ではありましたが、久しぶりの再会に喜び、和気あいあいと和やかな時間を過ごしました。



第18回 シャープ社友会 広島支部 定期総会 2011・5・27 於：シャープ(株)通信システム(事本)多目的ホール

・山本広島支部長挨拶（抜粋）

東日本大震災では、大地震と津波の天災により大勢の方が被災され、多数の死者不明の方がでました。加えて福島原発事故も発生したが、これは人災ではないかとみえています。社友会と紅葉会会員様へ、義援金の協力をお願いをし、約200名の方から約62万円のご寄付を戴きました。厚くお礼申し上げます。義援金の送付についてシャープ関連では、東北支部に所属する地域で多数の方が被害に遭われています。栃木支部より東北支部へ義援金を送金したとの事ですが、東北支部からは、もっと被害の大きい方々へ支援を行って欲しいと要請があったとの事です。東北支部へ確認した結果、シャープ関係以外の方へ支援をお願いするとの要請でした。そこで、広島支部での義援金の扱いは、広島支部役員会にて審議の上決定し、会員皆様方へは寄託先が判るようにした対応と報告をさせて戴きます。過去1年間取り組みの行事報告は、東副支部長より報告申し上げます。



・高田総務部長挨拶（抜粋）

シャープ業績の状況は、リーマンショックの影響からは立ち直りつつありましたが、大震災の発生で事業が落ち込んだ。今期は、エコポイント後の需要の落ち込み、液晶関連では部品不足、ソーラーは海外で競争激化、大震災の影響で下期は見通しが未だ出ていません。生産への影響は最小限に抑えているが、堺・亀山工場とも、1ヶ月遅れて5月中旬より活動開始。通信システム(事)関連では、組織変更等で2,700名の体制になります。5月に大和郡山から200名移動して来る計画で、海外向け携帯も含めた事業展開の予定です。スマートフォンは海外へも展開を行い100万台を目指して推進する、現在は海外メーカーとの厳しい競争ではあるが、今後もトップシェアを狙う。



・阿部支部執行委員長挨拶（抜粋）

東日本大震災対応は会社と一体となって取り組み、仙台を中心に従業員を派遣し被災者支援に取り組んでいる。義援金カンパ4,705万円を寄付。シャープ被災者見舞金支給の追加支援も検討中。又、全国規模では連合加入企業としてカンパ活動にもあたる。携帯業界、スマートフォン市場拡大に向け、通信システム(事)本部広島事業所、労組ともに協力しあって推進してまいります。



・長谷川副参事挨拶（抜粋）

シャープ社友会広島支部との折衝窓口役として、宜しくお願いします。



◆定期総会議案審議

（議案書に元づいて提案）

・東副支部長より、平成H22年度事業（行事）報告並びに平成23年度事業計画の提案、続いて各担当幹事の決算報告・監査報告・平成23年度の予算(案)と会則改定の提案された。又、各同好会活動状況が報告された。

・山本支部長より支部役員交代紹介あり、柴垣広報担当、村上企画担当、伊藤総務HP担当の3名が退任、新任は小森山さん総務HP担当、中崎さん企画担当、黒田さん会計監査担当の3名と弓井幹事の会計監査より広報担当へ変更が確認され、新任者の挨拶がありました。

◆質疑応答：2件の質問確認。

・山澤山陰地区委員：3月末1名の増員あり、地区活動費を15,000円に修正の要望あり、人員確認結果、要望額に修正する事を矢野会計幹事が確認した。

・吉久清春さんより、関西・中部・関東地区を広島支部として新設の件で質問あり、山本支部長より、新設の経緯説明と本部規約で会員本人の希望で所属支部を選択できる等で問題ない旨を説明して了解された。

◎質疑応答の後に、議案すべてが承認された。

【第2部 懇親会】

◆ 新入会員の自己紹介

新入会員の古賀誠次郎さん、亀田秀昭さん、児玉義雄さんの3名より最終所属や近況報告。



古賀さん 亀田さん 児玉さん
新入会員の皆さん

◆ 慶事者の挨拶（抜粋）

・喜寿 江川朝昭さん

喜寿のお祝いを戴き、真にありがとうございました。今年は横浜から、車で来社、来年からバス乗車を楽しみながら総会へ出席したい、死ぬまで「総会」には参加したいとの事。



・古稀 安元正明さん：

古希のお祝いを戴き、真にありがとうございました。健康第一に、次ぎの10年を元気に生き抜きたい。と願っても10年は長すぎて難しい、先ず、5年先迄は元気に生きることを今後の目標にしたい。



◆ 地区委員紹介（抜粋）

・池田征三郎さん（岡山地区）

環境エコキャンペーン取り組み中ですが、我々の年代となると脚部が弱くなり、怪我などするケースが増える。先ず、歩くことが何より大事。率先して歩きましょう。



・山根行雄さん(広島地区)

広島支部の企画担当と広島福山地区委員を兼務で担当します。



・山澤純一さん（山陰地区）

山陰地区は益田から鳥取まで大変広域であり、1名で各地に在住する方と合ったり、情報交換するにはもう1名補佐が必要で、今回松江地区に副委員に「内藤健一さん」が就任する事になり、連携して「山陰地区会」の発展を図りたい。



◆ 遠方参加者挨拶（抜粋）

・片桐縣二さん（鳥取県境港市）

東日本大震災に関連して、平成12年10月6日の鳥取県西部地震(M7.3)は境港市で震度6強の直下型地震で液状化現象発生を見た、ご自身の恐怖の体験や、今年の積雪は例年にない大雪となり、長蛇の交通渋滞と道路沿いの松並木が多数倒木して、未だ片付けが終わらない等、自然の猛威を感じる等の体験談を語られた。



・原田武彦さん（鳥取県東伯郡）

健康に留意しながら、地域の環境問題などの対策推進等を通じて、地区の為、自分の為、人の為、頑張って参りたいと考えています。



◆最後に、東副支部長の音頭で一本締めと記念撮影を行い、定期総会、懇親会共に無事終了しました。



中崎さん 小森山さん 黒田さん
企画担当 総務HP担当 会計監査
(2ページで紹介の新任役員です)

東日本大震災義援金の集計結果とお礼及び寄託報告

東日本大震災で被災された方々に謹んでお見舞い申し上げますと共に、一日も早い被災地の復旧・復興を心より祈念いたします。

この度の「たすけあい義援金」の募集に際し、多額のご寄附をいただきまして厚く御礼申し上げます。皆様からの義援金は、5月31日に中国新聞八本松販売所を通じて社会福祉法人中国新聞社会事業団へ寄付しました。又、6月2日に、宮城県東松島市災害ボランティアセンターへ土のう袋と軍手を届けました。

◆ 社友会(200名)

・義援金総額 638,000円（払込手数料控除後の金額 619,310円）

◆ 紅葉会(24名)

・義援金総額 72,000円

◆ 寄託先・中国新聞社会事業団：社友会 500,000円、紅葉会 72,000円

・宮城県東松島市災害ボランティアセンター：
土のう袋（3,000袋）、軍手（240組）、他（119,310円相当）

中国新聞 平成23年6月2日朝刊	
町榎原、森高勝好さん 卒業同期会▽5万円 寺家、西条中学校昭和36年 ▽6万7437円 1フ社友会広島支部紅葉会 2千円 芸津町三津、蓮光寺▽7万 千円 チャリティ会▽20万円 内町入野、安芸カントリー1 広島支部▽31万4千円 本松飯田、シャープ社友会 八松飯田、シャープ社友会 50万円	愛の灯 東日本大震災義援金 中国新聞社会事業団

中国新聞社会事業団への寄託目録	
目録 1. 金 72,000円 東日本大震災被災復興の義援金としてお贈りいたします 平成23年5月31日 シャープ社友会広島支部 紅葉会 社会福祉法人 中国新聞社会事業団 御中	目録 1. 金 500,000円 東日本大震災被災復興の義援金としてお贈りいたします 平成23年5月31日 シャープ社友会広島支部 社友会 社会福祉法人 中国新聞社会事業団 御中
紅葉会目録	社友会目録

役員会便り

事務局長 松見 弘

※ 定期総会を5月27日に開催。

平成23年度予算案、行事計画案、その他、原案通り承認されました。

- ・今回支部役員との交代がありました。退任：村上孝一氏、柴垣孝佳氏、伊藤福寿氏。新任：黒田隆氏、金国信太郎氏、中崎春香氏、小森山光朗氏)
- ・関西・中部・関東地区に地区委員が新たに設置されました。上杉強氏に担当していただきます。(詳細は第18回定期総会議案書にてご確認ください)

※ 東日本大震災義援金

多数の義援金有難うございました。役員一同にて寄付先を決めさせて頂きました。詳細は広島支部ホームページやhibiki第59号でご確認ください。

※ 夏季懇親旅行(立山・黒部アルペンルート)を6月7日～9日の2泊3日で実施しました。長い距離のバス旅行でしたが3日間共に天候に恵まれ、素晴らしい絶景を堪能出来た楽しい旅行でした。次回も多数の参加をお待ちしています。

地区役員報告

地域担当・企画担当幹事 山根 行雄

広島支部の地区会員数は平成23年5月末に、広島支部全会員数の1/3超の150名になり、この5年間で約3倍に増加。地区会員相互の親睦交流と健康増進に向けた情報交換を促進すべく、昨年度より広島支部独自の地区活動費支援や地区委員とのWebTV会議開催等を通じて、各地区との情報ネットの強化を推進中です。現在、地区委員や社友会会員の協力で非会員と共に「親睦OB会開催」やゴルフ・釣り・山登り・花見・海水浴等のイベント実施に積極的な取組をお願いしています。今後は、各地区会員からの支部HPや支部会報hibikiへの投稿等をお願いし、活発な情報発信を行って戴き、会員間の情報交換の推進と会員各位の活力アップを図ります。

中国四国等地區会員数		6月末現在		合計	150	3月末比		13名増	
広島地区	69	山口地区	13	山陰地区	21	岡山地区	18	四国地区	17
		内広島	47	内福山	22	関西関東	12		
・関西中部関東地区(関東関西と表記)を追記する									

〔広島支部〕

■4月22日、支部役員会時に支部役員との地区委員WebTV会議開催、情報交換実施。

〔広島地区〕

■4月11日、ゆうゆう会ウオーキング仲間と有志9名で住吉堤(廿日市市)で桜花見会実施。

■5月16日、ゆうゆう会世話人の9名が参加し「広島シティーホテル」にて本年度第2回世話人会を実施。11月19日開催予定の平成H23年度「ゆうゆう会第8回懇親の集い」に向けて、会員名簿の見直し新会員含め128名を確認、案内状発送(9月末)、会費(7000円)、親睦会内容等を決めた。次回の第3回世話人会は9月12日(月)開催予定。



ゆうゆう会で花見 気分よし!

〔山陰地区〕

■5月23日に「第四回社友会山陰地区会」を親睦会兼ねて参加者11名にて、出雲市『ニューウエルシティー出雲』で開催。翌24日は「出雲空港CC」で参加者6名にて懇親ゴルフコンペ実施。

(支部HP「シャープOB会NEWS」に掲載しました)

〔山口地区〕

■松田地区委員ほか社友会会員の世話役15名が4月9日(土)錦帯橋へ参集。花見会を兼ねて第2回世話人会を行い、「第3回山口シャープOB会」を平成24年7月に下松市の“健康センター”にて開催を決定。現在、参加者確認中で、開催に向けて今後は数回の事前準備会を開催し、より多くの参加者動員に向け推進中です。

〔岡山地区〕

■池田地区委員等の世話で、年3回の社友会・非社友会員合同「懇親ゴルフコンペ大会」を企画し開催に向け推進中です。5月は岡山市「たけべの森ゴルフ倶楽部」で「第21回岡山SHゴルフコンペ大会」の開催の予定でしたが、雨天の為に6月20日に延期し10名の参加者で開催。栄えある栄冠は中村雅信さんに輝きました。

〔四国地区〕

■尾崎地区委員や社友会員等の世話で高松地区及び周辺地域在住のOB数名にて、毎月1～2回、懇親ゴルフを実施中で、親睦の促進と情報交換を行っています。

■愛媛地区では、2年に1回開催予定の「愛媛シャープ電機OB会」を元所属OB(三好勝治さん他)のお世話で、秋口の開催を目指して準備・調整中です。

〔関西関東地区〕

■4月より地区委員に上杉さんが就任いただき、活動を開始しました。



第四回山陰地区会での一コマ

杉山 健

早いもので、囲碁・将棋同好会のリーダーを引き継いで丁度一年に成りました。本同好会は、毎月第一月曜日を「例会」の日として会員が集まり、和気あいあいと雑談を交えながら囲碁の腕を磨いて(?)います。

私は、シャープ(入社時は早川電機でした)に入社して暫くした頃に、当時の太田人事部長がお世話を下さっていた「囲碁部」に入会しました。当時は、各職場で昼休みに弁当を食べながら囲碁を遣る人が多く、この関係で「囲碁部」に入ることを勧められました。「囲碁部」は太田人事部長(四段位だったと思います)を筆頭に有段者が3~4人居り、部員の数もかなり多かったと思います。月に一度は、関西棋院からプロ棋士(以降は先生と呼びます)をお招きして直接指導碁を打って貰いました。指導碁とは、先生が有段者の場合は同時に2名を相手に、段位の無い者は同時に4~5名を相手にして対局し、勝負の付いた者(大抵は先生が勝ちます)から順次、最初の手から並べ直ししながら、良かった手と悪かった手を指摘し指導を受けます。当時、私は四級でしたが先生とは「井目」(9目の置き碁のこと)から始め「6目」で勝てるようになった時に「初段」の昇格試験を受けるように勧められ、無事「初段」の免状を頂きました。もう一つの思い出は、数か月に一度、対外試合に出掛けたことです。5名を一組にして二組で対外試合に出掛けました。チーム優勝と、勝率による個人優勝を掛けての対局はとても興奮しましたし楽しい思い出です。

「囲碁」についてもう一つ私の思いを書いてみたいと思います。「囲碁」は“打ち手の性格”が出易いゲームです。“おおらかな性格”“几帳面な性格”“物事に拘る性格”“冷静な性格”等々幾つかの性格が、上級者は別とし

て、一局の中でどこかに現れます。囲碁を長く打っていると、自分自身の性格が出て失敗をしたことに気付くことがあるのです。こんな風な見方をすると、これが囲碁の上達に役に立つ事が多々あるのです。これは仕事の上でもあったような気がします。囲碁は、19x19の縦横の線の交点のどこに石を置いてもかまいません(既に石が置いてあるところと、一部ルール上置いてはいけない場所は有ります)。即ち、最初の段階では361ヶ所に石を置くことが出来、次には360ヶ所と云った具合です。しかし、上級者に成ると相手を見て(性格等も)石を置く(打つ)ので、打つ場所はかなり限られたところに成ります。次に相手の打つ場所が予想出来るようになるにはかなりの経験と年月がかかります。これを“読む”と云い、上級者に成るとかなり先の手まで予想することが出来るようになります。

現在の囲碁同好会は、参加人員も限られており年齢的にも“上達”より“楽しみ”が目的のまさに“同好会”としての集まりに成っています。以前にも書きましたが囲碁は脳の活性化に役立つのではないかと考えます。現役時代と違い頭を使うことがだんだん少なくなってきました。脳の若さを保つ為にも、囲碁同好会に未だ加入していない方、やって見ようと思う方は是非一度、毎月第一月曜日午前10時半に、社友会の部屋までお越し下さい。今回は6月例会の対局風景を写真でご紹介します。



昔は職場でこの様な光景が観られたのかな?・・・イヤイヤ白髪頭は無かったよ!

釣り

オオアジ釣りに挑戦

川田 正勝

☆釣行日 6月22日(水)

- ・対象魚：オオアジ
- ・釣り場：山口県平郡島の沖
- ・舟：マグナム
- ・参加：8名

前回は晴光丸で行きましたが、今回は呉港から出港のマグナムで行きました。朝5時半に出港し、約2時間かけ7時半頃に、ポイントの平郡沖に着きました。昨日はいい天気でしたが、今日の天気は、曇り時々雨の予報で心配していたが、幸い雨も降らず絶好の釣り日和でした。5月までは流し釣りでしたが、今回は舟の錨を下ろしての釣りです。今の時期は、アジは産卵の為にバラバラに散っているの、撒き餌でアジを集

めて釣り上げます。撒き餌のオキアミを撒いて15分位で当りはじめて、1時間程は良く釣れましたが、それ以降はボツボツで、12時には納竿としました。釣果は多い人で20匹、少ない人で5匹、平均では13匹程で、この日はまあまあ釣果でした。7月にもう一度オオアジ釣りに挑戦したいと思っています。今からは、浜田で剣先烏賊が釣れます。釣りは楽しいです一緒に行きませんか。



釣れました! 大きなオオアジ??

車角 裕規

少々旧聞に属しますが、昨年12月の例会で出席された会員諸兄に質問しました。曰く、今年最も困ったことは何でしょうか？。反応の圧倒的多数が、「動作が遅い！」でした。重ねてパソコンのOSを訊ねると、ほとんどが「XP」でした。と、云うことで、今年4月から6月の、同好会では3回続けて「XP」対象の、遅い・鈍いなどを対象とするメンテナンスを特集し、導入当初の軽快な動きを復活させる諸施策を紹介したのでした。その結果としての反応は、この原稿を作成している段階では掌握していませんが、想定外の情報があり困惑しています。それが本文題名の「Windows の“怪”」です。

4月に欠席だったHさんが5月例会に出席。最近の動作状況を訊ねました。「快調」です、と意外な答え。何をしたのか、と処置した内容を質問。某社に持ち込んで、メモリを増設し、ハードディスクを掃除した？かの様。ハードディスクに保存されている不要なファイルを削除し保存領域を確保する、「ディスクのクリーンアップ」で「このドライブを圧縮してディスク領域を空ける」という選択肢があります。Windows 95 以来継続して採用されてきた定番の対策ですから、ウインドウズファンは躊躇わずチェックを入れます。その、チェックを入れたことが良くないという、ご宣託のようでした。即ち、Hさんのパソコンは、ワンドライブ（一般的なDドライブが無くてCドライブだけ）の条件が影響したのかと思いましたが、その某社の担当者は「圧縮すること自体が、

好ましくない」と説明した様です。断片的ながら、10年を超えてMS社が継続してきたシステム上の設定が、ユーザーにとって不都合なるジャッジが存在しており、その当事者が如何なる対応も、実施していないということになります。これは、一般ユーザーにとって明らかに問題です。問題には必ず解答があるとの定理から、その問題の「解」を導く為、6月の例会で「問題点」を整理しようと思いました。ところが、メンバーのOさんが発言し、その某社に自分のパソコンの不調対策を要請した時、Hさんと同じ主旨の指摘があった、と披露。これには困りました。いずれが正しいかと考える以前に、どちらにも論理的破綻が無いという事の検証が必要になった感じです。



HDDのプロパティ (例)

絵手紙

風景画がモチーフ

川田 正勝

5月21日頃を暦の上では「小満」(しょうまん)と言われ、麦の穂が実って少し満ちてきた、と言う意味ですが、気候が良くなり、全ての物が成長し、天地に満ち始めると言う、最もすばらしい季節のことです。今月は、そんなすばらしい季節の風景画がモチーフです。勿論この季節の風物でも構いません。沢山の色を使って、明るい陽気に満ちた絵手紙に挑戦しました。今月は1人が体験入会されました。正式入会を期待しています。

(作品は支部HP同好会に掲載しました)



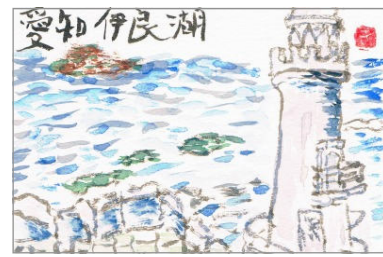
神野さん作



吉田さん作



大久保さん作



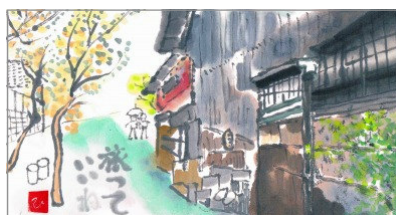
増田さん作



平さん作



森本さん作



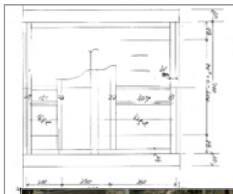
三宮さん作



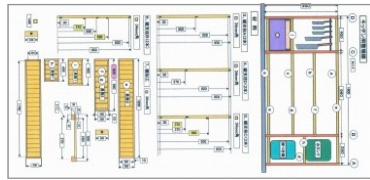
丸山さん作

森本 康夫

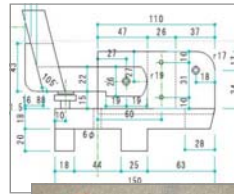
「ものづくり同好会」がスタートして3年で現在の会員21名になりました。この3年で加工技術は随分上達したと思います。リーダー・サブリーダーが技術出身であることが早期上達の要因だと思います。設計図の書き方、工作機械の扱い方、組立ノウハウ、塗装技術等、丁寧な現場指導の成果だと思っています。お蔭様で製作時間も随分早くなってきたし、何と言っても自分でどんどん作業を進められる様に成り、ものづくりが更に楽しくなってきました。ものづくりの楽しみは、図面を書く時から始まり、完成品をイメージしながら、書いたり消したりと夜遅くまで時間の経つのを忘れてしまいます。この時、大事なことは部品の一つ一つまで丁寧に図面を書く事だと思います。この丁寧さが後の加工スピードや出来栄を大きく左右する事を体験しました。次は、材料調達で、図面片手にホームセンターで材料探し、木の種類やサイズ等色々探し廻るのも楽しい一時です。それにしても何処へいっても外材の多いのには驚きです。いよいよ製作開始、一番楽しい作業ですが、重要な事は、始業前の安全点検です。



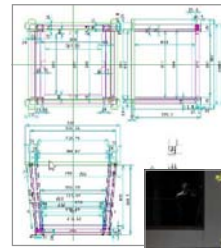
ベビーベッド (梅田)



キッチン収納棚 (森本)



ボート用釣竿ホルダー(合屋)



植木箱 (奥村)

工作機械を使って行う作業では、少しの油断で間違っってカットしたり穴を開けたり、それよりも重要な事は怪我の要因にも成りかねません。ステップ毎の確認と適度の緊張感を常に持って置く事が重要です。そして加工順序を考えながら、あわてずゆっくり材料から部品へそして完成品へと、この作業の時間が最も充実した時間です。作品は色々有りますが、近頃は孫のブランコやベッド、また奥さん孝行の大型植木箱やキッチン用整理棚といった比較的大きい作品が目立ちます。勿論、自分用の趣味の小物づくりに熱中しているメンバーも居り、それぞれ楽しくやっています。メンバーの家にも大分手作りの作品が目立つ様に成って来たのではないのでしょうか。それから、もうひとつの楽しみは、年中行事の夏と冬の”バーベキューものづくり会”。夏は網戸の張替え、襖の張替え、豆腐作り等、冬はしめ縄や門松づくり等、実的なものづくりを学びながら、バーベキューをして楽しく親睦を深めています。「やっぱりものづくりは楽しい」。

今回は代表作のみですが、最近製作した作品とその設計図面を紹介します。

平成あそび隊

清盛塚とてつのくじら館

松岡 良明

平成あそび隊は、4月20日に呉市の”音戸の瀬戸の清盛塚”と”てつのくじら館”の見学に行きました。又、音戸ロッジがリニューアルして、汐音(シオン)という名前で新装オープンした事を知ったので、あるこう会のメンバーと偵察をしてきました。建物は外観も内部もすっかり新しくなり、以前の面影は全く無くなりました。レストランや風呂からの音戸の瀬戸の眺望は時々フェリーが通るなどして本当に美しかったです。お風呂の入浴料は750円でタオル無しでは高い気がするし、レストランでの食事値段の割には美味しいとは思えず失望です。



昔は有料だった音戸大橋!!

食後は、第二音戸大橋の工事を目の辺りに見て、スケールの大きさに驚くばかりで、4月24日に橋桁の取り付け工事が早朝の午前五時に始まるとの告知が有りました。

【日本一短い渡し舟に乗る】音戸町と倉橋町の間に渡舟が有ります。これに乗るのは初めてですが、話の種に乗りました。対岸までは五分と掛からない距離で片道70円、大きな船が通ると、木の葉のように揺れてスリル満点、朝夕は通勤通学でピストン運転になるらしい。

倉橋町には”清盛塚”が有り、全員で記念写真の撮影をし、その後は古い街中を散策しました。再び、渡舟で戻り”てつのくじら館”へ向かってまっしぐら。

【てつのくじら館】”てつのくじら館”は海上自衛隊の管轄で見学は無料です。館内では自衛官OBに説明をしてもらいよく判りました。潜水艦の内部は意外と狭く、こんな狭い艦内で何日も勤務するには、相当厳しい訓練を積まないと、耐えられないと感じました。



”てつのくじら”?は、潜水艦だ

「これも、ゴルフ！！」
 同伴競技者間での意識なき勝敗

出口 昌孝

・第139回コンペは、年度開幕第一戦「桜コース」として平成17年から連続7回目の会場です。昨今の温暖化の影響か？開花時期が定まらず、毎年気を揉むのですが今年は満開に近く、気温も18度、日和も上々でした。となれば意気込むのが常ですが、グリーンは高麗芝、春の芽生えで手入れ不足か？刈込み不十分で一苦勞。優勝は4年かけての初栄冠で2アンダー。アンダーパーは一人だけ。そんな中若さの勢いか、怖さ知らずか、上位お三方に若手がいるのも今回の特徴です。今月より、梶川久志さんと亀田秀昭さんが加入されました。

・第140回は、毎年計画の記念大会で、多くの賞品を準備し、参加者も賞品を楽しみに多数エントリー頂いたが、予定日は台風1号の煽りで大雨となり、競技を延期とせざるを得ませんでした。延期は英断との評価の声もありましたが、再開日は参加者が減少、その上今度も雨予報の朝でしたが午後は幸いにも曇り。結果は実力者が上位入賞。そんな中プレイ中に「スイングの開眼」し、前回より大幅な順位アップで、次回が楽しみな選手の発見した。

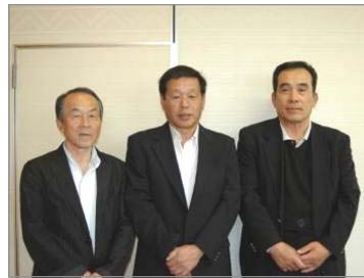
第139回コンペ (18H) (4/12 宮島志和C/C)			第140回コンペ(18H) (5/23 安芸C/C)			第141回コンペ (18H) (6/17 瀬戸内G/R)		
順位	参加者	Par	順位	参加者	Par	順位	参加者	Par
1	塩安	-2	1	藤原(克)	+1	1	勝山	-3
2	藤原(克)	+1	2	山口(剛)	+2	2	森本	-2
3	岡村	+1	3	長谷川	+2	3	山本(善)	0
4	亀田	+2	4	清田	+2	4	藤原(克)	+1
5	嵐	+3	5	亀田	+2	5	松見	+2
OUT / IN			OUT / IN			OUT / IN		
N.P.	出口	廣瀬	N.P.	出口	山内	N.P.	矢野	山本(善)
	嵐	藤原(克)		佐々木	藤原(克)		西尾	原田
	嵐	松見		上	長谷川		弓井	末沢
	西尾	廣瀬		伊野部	山内		矢野	渡辺

・第141回は雨予報が一転曇、午後から日差しもあり幸運でした。結果は8年かけての初優勝とハンディを生かさせた上位入賞のお三方です。今回の発見は、自分の気持ちのコントロール出来・不出来が実力発揮を左右する傾向がある事です。優勝者の弁で「よきパートナーに恵まれて・・・」とあるが、その意味の半面は、それがストレスとなり集中できずに下位甘んじた人もいます。前回発見した上昇者はその「スイングの開眼」維持？で更に14位まで上昇し次回入賞に期待が出来そう。(日頃の自主トレ成果の証しでしょう)何事も「プレイに集中」出来る精神コントロール訓練の必要性を感じました。

次回は、梅雨明け後の晴天の中で「実力発揮」出来る様に心身をリフレッシュしコンペ参加に期待します。



第139回コンペ
 準優勝 優勝 第3位
 藤原さん 塩安さん 岡村さん



第140回コンペ
 準優勝 優勝 第3位
 山口さん 藤原さん 長谷川さん



第141回コンペ
 準優勝 優勝 第3位
 森本さん 勝山さん 山本さん

アマチュア無線

陸・海・空3つの趣味を楽しむ！

山中 博行

私の趣味は、陸：ゴルフ、海：ボートフィッシング、空：アマチュア無線、の3つがあります。この3つの内、最も永く楽しんでいる趣味はアマチュア無線です。今は遠い昔、小学校時代に鉱石ラジオのキットを父親に買ってもらい組み立て、イヤホンから聞こえてきた、北京放送に感動したのがラジオ少年になったキッカケでした。中学になると少し知識レベルも上がり当時、同級生のお兄さんが趣味としていたアマチュア無線に大変興味を持ち、国家試験を受け自分の無線局を開局し、送受信機を作り、アンテナを作り、国内、海外の無線局と交信する



自宅の自慢のシャック前で

事に熱中し、特にDX局(海外局)との交信に毎朝3時、4時に起きてカントリー稼ぎに熱中した時期がありました。私が住んでいる所は、海拔240メートルで家の周りには田園地帯で電波に対する障害物が無く、アンテナ以外

に高いものが無く、其の上、昔から電波の送受信に非常に適し、帝国軍隊の送受信所が家の近くに有った程でロケーションに恵まれていた事から、小電力でも全世界と容易に交信でき、一時期、ローバンドDXでは日本のDX仲間の中でも一目おかれる存在で少し優越感を味わった事もあり、懐かしい思い出の一つです。社会人となり高度成長時代で、仕事も多忙で無線を楽しむ時間も無く、また仕事も面白くなり、友達と定年後に再開局しようとして約束し20年間の閉局としました。現役時代に海外勤務を2度経験しましたが、かつて交信した海外の局の何人もの友人と赴任地で会って、交友を深める事が出来、現在も交友が続いているのは趣味のお陰だと思っています。定年後、無線局を再開局し、今が青春と思ってお喋りに、又、機械づくりに熱中し楽しんでいます。会社関係だけでなく、広く色々な職業の方と楽しくお付き合い出来、多くの友人を得た事は、私にとって何ものにも変え難いものと思っています。3つの趣味は、現在の生甲斐でもあり多くの友人との出会いの場でもあり、忙しく、楽しく、今が第2の青春とばかりに楽しんでいます。今後も趣味を大切に、残りの人生を大いに楽しんで生きたいと思っています。

あるこう会

あるこう会で心身リフレッシュをと思い！

有田 守夫

仕事中心で生活してきた私が、あるこう会で長年の疲れを癒したい、心身をリフレッシュしたい思いから、還暦を2年過ぎて入会しました。入会してみると、仕事仲間の時と違い、メンバーの毛色の違い（惨めになるので、詳しくは述べない）に、一抹の侘しさを感じました。ところが、このメンバーが想像以上に明るく、お元気なことに驚きを感じました。ヨーシ！この人達に負けないよう先頭で歩かねばと思い、初回参加の時張り切り過ぎて、ズボンの股が20cm程破れてしまって、最後尾を気にしながら歩く破目になった苦が一い経験があります。その後、何度か参加していますが、5月に、あるこう会企画当番が廻って来ました。企画と言っても、その殆んどをリーダーにお世話になりましたが、行き先は尾道市向島の岩屋山巨石や洋らんセンターと国立公園高見山でした。NHK連続ドラマ‘てっぱん’の撮影現場だった所を見ながら、片道5分(100円)のフェリーで向島



岩屋山山頂にて、対岸に尾道三山と尾道市街を眺める

に渡り、岩屋山では、不思議な数十個の巨岩も然る事ながら、パノラマビューで眺めた千光寺公園周辺が絶景でした。千光寺公園で花見をするより、向島側から眺める花見を皆さんも一度経験して見て下さい。最高一です！高見山の登山は、私には厳しかったけど、頂上は瀬戸内海の島々を360°で展望できて此処も絶景でした。あるこう会は、月2回中国五県に跨り色々な場所を企画されて

ています。身近な所でも知らない場所を知ることが出来、幸せを感じています。今後も、私の思いを満足してくれる‘あるこう会’を続け、夫婦ともに健康で、幸せで、長生きが出来ればと、欲深いことを願っています。



高見山の山頂展望台から



近くに桜、遠く対岸は尾道市街

グランドゴルフ

地元同好会クラブと交流大会実施

水谷 正弘

4月から年度が変わり新たな気持ちで、毎週金曜日10時から5~7人にて活動しております。

5月20日に、地元の老人会系のグランドゴルフ愛好家の「第2回ファミリオ八本松グランドゴルフ大会」が開催されました。大会には、広兼さん、由井さん、南本さん、岸本さん、水谷さんの5名が参加しました。大会会場の八本松市民グランドに参加者総数72名と盛大で、参加者の想像以上の多さに圧倒されるし、年齢も86歳のご高齢の方も居られ、15m、20m、30m、50m等の8ホールを元気にボールを飛ばされておられました。

競技は各8ホールを3回廻り、総合点数で順位を争うもので、優勝者は54点とすばらしい成績でした。、我々も負けじと頑張りましたが、全員上位入賞は出来ませんでした。社友会からの参加者では広兼さんが30mのホールで止り（ホールインワン）を出して、賞品を獲得できたのが最高の成果でした。今後もこのような大会があれば積極的に参加して行きたいと思えます。

尚、当日は、東副支部長が参加者のプレイの写真を撮る為に、会場に足を運んで頂き感謝感激でした。

お天気に左右されますが、毎週金曜日午前10時から定期的に活動を続けていますので、少し体を動かしてみようという方は、プレイを体験しては如何ですか。



上：止まりを狙ってショット！
左：今、どんなスコアーだ！



上：いよいよ大会開始です
左：次のコースはどんなかな？

写ろう会

今年こそはお天気と仲良くしたいものです！！

中西 康憲

・4月の撮影会は3月24日～25日、一泊で九州の北西3県（熊本・佐賀・福岡）の撮影地を巡りましたが、いつものことながらお天気と相談しながらの撮影行でした。3月末にもかかわらず真冬並みの寒気の中で、御輿来海岸の干潟（熊本）・浜野浦棚田&蕨野棚田の菜の花（佐賀）・平尾台のカルスト台地（福岡）で撮影しましたが、主撮影地の御輿来海岸干潟では脇役の貝堀の人達が少なく、蕨野棚田では菜の花は寒さのせいか開花が遅れており、日本一高い石積み棚田とのコントラストも狙えず、寒風吹く悪条件の中で撮影ポイントを探すという厳しい結果に終わりました。撮影旅行のもうひとつの楽しみの夕食は、熊本市内で見つけた割烹店で貸切状態の上に割安で美味しい料理を戴けるといふ思わぬ幸運に巡り会え、大いに盛り上がりました。



島原普賢岳前に広がる御輿来海岸



浜野浦棚田(佐賀県)で記念撮影



蕨野棚田:日本一高い石積み棚田



撮影の合間に割烹で



井仁の棚田:狙いを定めて



三段峡黒淵の新緑



津和野鷲原八幡宮の流鏝馬

・5月の撮影会は連休の真ん中の5月3日に広島で唯一日本棚田百選に選ばれている井仁の棚田と、新緑に彩られた三段峡へ出掛けました。井仁の棚田では連休中に田植えが行われるとの情報を得ていたにもかかわらず、田植えをしていたのは1ヶ所だけだったため、皆が同じ被写体を狙うという結果になりましたが、棚田という険しい地形での農業の厳しさを感じながらの撮影を体験しました。

・その後、三段峡に移動。渓谷内は新緑が芽吹き、其処ここに花卉を散らす桜が残っているなど、爽やかな渓谷の初夏を満喫しながら撮影を楽しみました。定例撮影会ではありませんが、今年も有志で津和野鷲原八幡宮の流鏝馬神事の撮影に出掛けました。今年は馬場の桜が満開で、ロケーションは申し分なかったのですが、撮った写真は昨年と変わり映えせず、新味を出すためにも、新たな構図の検討や、流し撮りのテクニックを磨く必要性を感じるなど今後課題を残す撮影行となりました。写真は一期一会、そして最大の味方はお天気！異常気象と言われる中、これからも気象情報と睨めっこの撮影活動が続きます。

ボウリング

第51回6月大会は東郷さん優勝

牛田 晴雄

平成23年度第51回大会を6月11日(土)午前10時より賀茂ボールで開催しました。当日は梅雨本番で悪天候予測であったが雨に遭わず会場入り出来てほっとした。参加者全員集合確認の後、準備体操後に競技スタート。大会参加者23名(社友会13名、紅葉会1名、招待会員9名)の参加で大いに盛り上がり楽しく1日を過ごすことが出来た。競技ルールは3ゲーム(ハンディキャップ含む)合計得点で競った。結果は、優勝:東郷靖彦さん597点、



梅雨の合間の熱戦、お疲れ様でした。

準優勝:井出茂さん594点、第三位:牛田晴雄さん589点と、皆さんアベレージ200点弱の優秀な成績でした。ハイゲーム賞は、男子の部

は井出茂さんの224点、女子の部が和田清子さん215点。又、ノーマス賞は牛田晴雄さんが達成されました。数名の方があと一歩という所でしたが該当者は1名でした。

今大会もレーンコンディションの把握に苦勞し、一投一投に神経を使った投球でしたが、優勝者から3位までは8点の僅差という熾烈な競技を無事終えて互いに称えあい、盛り上がった大会でした。

◆上位6位までの成績(3ゲーム合計点HDPC含む)敬称略

1位 東郷靖彦 597点、 2位 井出茂 594点、
3位 牛田晴雄 589点、 4位 和田清子 575点、
5位 村上孝一 573点、 6位 神崎保典 572点、



準優勝 井出さん 優勝 東郷さん 第3位 牛田さん

ダンススポーツ チャリティー社交ダンス交流会に参加

新林 達人

春の訪れで練習には素晴らしい季節になりました。体の動きも軽やかになり、ついつい練習量が多くなる。でも週1回2時間の練習で、タンゴ、ワルツ、ブルース、ルンバ、チャチャチャ、ジルバ6種目全てはやりこなせない。先生と相談して種目を絞り込む。4月はモダン2種目ワルツ、タンゴを必修とし、間にルンバ、ジルバを入れて見えました。基本のフォーメーションは、半周へ出来るようになった。残り半周は、ステップの複雑な組み合わせなので、毎回最初から習う有様。これって年のせい？ボケ防止？皆、妙に納得しながら練習している。5月15日(日)は午後から東広島運動公園体育館で「社交ダンス交流会」があるので、ジルバ、ブルース、ワルツ、タンゴを主にして猛練習を行なう。



和やかな交流会の一コマ

女性は、男性のリードで踊るので案外楽に踊れるが、男性はリードするので、ステップをしっかり覚え、かつ全体を見ながら動き、位置、他の人のリードを把握する必要があります、生半可では踊れません。大会には男性2人が参加しました。が女性は所要がありで不参加となりました。折角なら練習の成果が試せたのにと残念に思いました。大会参加者は年配者が多く、雰囲気も和やかで、軽食もあり、近場で申し分ない。私は、習ったステップを全て応用し踊った。我がダンススポーツ同好会を昨年までご指導頂いた、古西、松田、高藤先生の元気な姿を拝見してうれしく思いました。同好会員の山根さんも3人の先生と久し振りにお会いし、楽しそうでした。皆さん元気な体で、来年はダンススポーツ同好会員・全員で交流会に参加したいと思っています。



チャリティー社交ダンス交流会の様子

山歩会 あの峰めざして

新川 昭雄

初めまして、3月より山歩会リーダーになりました新川です。サブリーダーに合屋さん、栗橋さん、会計に増田さん、また例会ごとに企画担当を決め山歩会を計画実施しております。私は三原市大和町の田舎育ちです。私の山歩きの原点は、小さい頃の山への憧れと、若かりし頃(二十歳前半)に友人にさそわれ、北アルプス穂高連峰に登山した事があり、そこから見た槍ヶ岳の絶景が忘れられなく山歩会に昨年より参加しております。本年度は7回の山歩会例会を計画しています。



比婆山連峰登山

・4月は葉田竜王山と筆影山縦走。桜が満開の中、海の輝きを見下ろしながらの例会実施でした。5月はカタクリの花が見られる山口最高峰寂地山でしたが、残念な事に雨の為来年度へ延期になりました。



竜王山登山



桜満開で絶景かな！筆影山山頂

・6月は比婆連峰を歩いてきました。晴天の中、県民の森公園センターへと出発。約2時間の車中では、趣味や山歩きの話などで盛り上がりました。午前10時に登山開始し、途中では可憐な花が私達を歓迎してくれました。出雲峠を経て鳥帽子山に到着。大盛りご飯の昼食に舌つつみしながら楽しいひと時をすごしました。比婆山御陵に到着後しばし休憩、新緑のブナ林を見ながら午後3時前に全員無事下山しました。

・8月は中型バスで行く北アルプス乗鞍岳を計画しております。山はいいよ～、自然はいいよ～！、皆様も山歩会で自然を楽しみませんか！さあ あの峰に向かって一歩を踏み出しましょう。

夏季旅行報告 『立山黒部アルペンルート・世界遺産五箇山の旅』

「好天にめぐまれた、夏季親睦旅行報告」

本年度の夏季親睦旅行を6月7日～9日に実施いたしました。今回は2泊3日の旅行で、行先は北アルプス『霊峰立山』で『立山黒部アルペンルート、世界遺産五箇山の旅』と銘打って実施。参加者28名で実施しましたが、出発時は生憎の天気、東に行くにつれて天気も回復し、旅行中は素晴らしい天気に恵まれました。初日の行き道中では、名神高速道路の集中工事の日に当たり渋滞も予想されましたが、ドライバーさんの機転で迂回路を利用し、全く渋滞にまき込まれることなく、予定通りの旅行日程を消化することが出来ました。

宿泊先の「ホテル立山プリンス」と「ホテル桃源」では当地の名産「長野わさび」や「ほたるイカ」の美味を堪能し、楽しい時間をすごしました。今回は2日連続での懇親会開催となり「カラオケ大会」や、「アルペンルート」の話で盛り上がりました。一番の話題は、幸運にも特別天然記念物、雷鳥を撮影できた、新川さん、小森山さん、山根さんのトピックスでした。

今回、旅行の期間中は好天にも恵まれ、皆様の協力で長時間で遠距離の旅を終えて、全員が無事に帰宅されたことに感謝致します。

(旅行の詳細や写真等はホームページに掲載しました)

私のセカンドライフ「趣味と観光農園」

山口地区委員 松田 正博

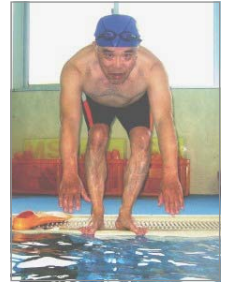
◇WORK:「観光農園 須金フルーツランド」

山口県周南市の北の玄関口には“須金和紙の里”で知られる緑豊かで自然に恵まれた大地に、13の農園からなる須金フルーツランドがあります。過疎化が進んで人口は減少していますが、フルーツランドでは元気印の人達が、ぶどう20ha、梨10haを栽培し、8～9月のシーズンには近郊の県や市から沢山の人が来園されます。農園は全て、エコファーマー認定農園(注*1)で、品質向上に努め、「糖度日本一の須金梨、ぶどう」の生産を目指し頑張っています。又、須金巨峰ぶどうを使ってワインの原料を提供し、徳山ワインとして、名産の一つとなっています。主力のぶどう、梨はシーズン3万個を全国各地に出荷しています。私は県の中山間地域促進事業として須金に2007年にオープンした産地直売所“ふれあいプラザ須金”に責任者として勤務しております。仕事は主に出荷業務と直売所運営ですが、結構忙しくしています。地区の皆様や、お客様との暖かいふれあいが出来、とても楽しい職場です。シーズン中はぶどう狩り、梨狩りも楽しめますのでぜひご来園下さいませ。詳しくは「[須金フルーツランド]」で検索しHPをご覧ください。



ふれあいプラザ須金にて

◇TASTE1:「水泳」: 定年後、体力維持のためスポーツジムに入会し、水泳を始めました。現在7年目で、やるからにはと、短距離フリーでのマスターズ上位入賞を目指して頑張っています。なかなかいいタイムは出ませんが目標があるので楽しく、やり甲斐があります。



頑張るぞー!!

* 個人記録: 50m自由形は39秒10、
25m自由形は17秒45

(参考: 県中学女子50m自由形タイム: 27秒58)

◇TASTE2「カラオケ」: 週1回カラオケ教室に通っています。自宅ではパソコンでカラオケの練習をしています。余りうまくはありませんが、ジャンルを問わず何でも歌える様にと頑張っています。

◇「支部活動」

山口シャープOB会を、第1回は山口市で29名参加、第2回は下松市で58名参加で過去に2回実施し、多くのOBの方々と楽しく懇談することが出来ました。

来年の平成24年度には第3回OB会を7月開催に向けて準備中です。

4月9日にはOB会員有志で、岩国の錦帯橋で花見会を15名の参加を得て実施。第3回OB会への参加依頼と他会員への呼びかけや協力をお願いしました。



若々しいOB会員有志の方々

注*1: 「エコファーマー」とは、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」にもとづき、たい肥等を使った土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行う農業者の愛称です。環境保全型農業に取り組む農業者を支援するため、持続性の高い生産方式を導入する計画を立てた農業者を、知事がエコファーマーとして認定します。

新入会員の紹介

平成23年4月1日～6月末までの入会者 敬称略

むらなかひでお	村中英雄	No.5426	通信)販売推進部
にかわ あきら	二川 明	No.5427	通信特許C)特許開発室
あらかわしんいち	荒川進一	No.5428	システムデバイス第1事)第3開発部
こだまよしお	児玉義雄	No.5447	モバイル(液昌)設計センター設計技術部
まえだしゆんいち	前田俊一	No.5448	AVシ開発本部 要素技術開発センター
かのうふみと	加納史人	No.5449	通信)品質解析部
まつだかずひこ	松田和彦	No.5476	通信)第2生産部

広島支部会員数 410名、平成23年6月末現在

追悼 石野 忠彦様(享年79才)

広島支部会員 石野忠彦様(いしの ただひこ 会員番号1406)が、7月5日にご逝去されました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

広島支部行事予定 7～9月

7月22日	定例役員会
7月30日	サマーフェスティバル
8月26日	定例役員会
9月23日	定例役員会

編集後記: 今回は多様な記事の掲載になり、若干賑やかな誌面に成りましたが、皆様のご協力で写真が増えました。編集者に新しい血(役員)が加わりましたので、誌面の向上をご期待ください。皆様のご意見をお待ちしています。KM

発行

シャープ社友会広島支部
支部長 山本孝喜
電話・FAX共通: 082-420-1728
〒739-0192 東広島市八本松飯田2-13-1
E-Mail: shayukai-hro@bz01.plala.or.jp

シャープ社友会会員数 6月末日現在				4,773名	
本部	2,972名	東北	115名	栃木	380名
東京	594名	中部	171名	広島	410名
九州	131名	2011年3月末比		60名増	